

令和5年6月定例教育委員会議事録

1. 日 時：令和5年6月29日（木）14時00分～15時40分

2. 場 所：離島開発総合センター 中央会議室

出席委員：委員 中村好秀 委員 升水裕司  
委員 浦いせ子 委員 横山明美（欠席）  
教育長 中村慶幸  
事務局 教育次長 牧尾 豊  
教育生涯学習班長 大田 議 嗣  
図書館係長 津田 朋子（欠席）  
文化財係長 平田 賢 明  
教育総務係長 神崎 健 司

3. 附議案件

(1) 前回議事録承認の件

(2) 教育長報告

(3) 議決事項

1) 議案第2号 小値賀町学校給食共同調理場運営委員会規則の改正案について

(4) 協議事項

1) 総合教育会議について

(5) 報告事項 (5/13～6/12分まで)

1) 各種委員会、協議会等について

報告第8号 第1回放課後子ども教室運営委員会について(5/16)

報告第9号 北松西高校魅力化推進会議(第1回)について(5/23)

報告第10号 ふるさと留学協議会(第2回)について(6/1)

報告第11号 図書館運営協議会(第1回)について(6/1)

報告第12号 学校運営協議会(第1回)について(6/2)

報告第13号 文化的景観保護推進審議会(第1回)について(6/5)

2) その他

① こども園出張おはなし会について(5/18)

② 特別支援第1回代表者会議・実務者会議について(5/19)

③ こどもの日・家庭の日わくわくウォークラリー大会について(5/21)

④ 小中高耳鼻科検診について(5/22)

⑤ 世界遺産マイスター検定講座について(5/24～26、28、6/2※修了式)

⑥ 5月小中高一貫教育代表者会について(5/26)

⑦ 総務文教厚生常任委員会関係施設視察について(5/26)

⑧ 婦人連絡協議会文化財ボランティアについて(5/28)

⑨ 令和5年度小値賀小学校運動会について(5/28)

- ⑩ 県市町教育委員会連絡協議会総会について(5/29)
- ⑪ 総務文教厚生常任委員会について(5/29)
- ⑫ 人事異動に伴う委嘱状交付について(6/1)
- ⑬ 小中高眼科検診について(6/7)
- ⑭ 世界遺産登録5周年記念イベント野崎自然体験について(6/10)
- ⑮ 令和5年度佐世保市中学校体育大会について(6/10～11)
- ⑯ 青少年劇場について(6/11)

(6) その他

- ① 令和6年度教育委員会事業アイデア公募について
- ② 7月行事予定について

事務局 (次長)	<p>それではみなさんこんにちは。定刻前ですけれども、みなさんお揃いでおりますので、ただいまから定例教育委員会の方を始めさせていただきたいと思えます。進行を教育長の方をお願いします。</p>
教育長	<p>はい。改めまして皆さんお疲れ様です。本日傍聴に1名の方に来ていただいております。教育委員会の会議規則に基づきまして許可したいと思えますので、どうぞよろしくをお願いします。</p> <p>先月末がですね、県の市町村教育委員会連絡協議会総会と県と市町の教育委員会に全委員さん出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>私も出席しましたがけれども、総会の後の合同研修会第5分科会、教育長の分科会に出席させていただきましたけれども、テーマがですね、教職員の働き方改革についてということでしたけれども、その中で、特にですね教頭先生の働き方、改善が一つ、そして本日お手元にお配りされているかと思うんですけど、県が今後力を入れるようにしております「夏休み充電宣言」。この二つがテーマでした。で、皆さんご承知のとおり教頭先生の働き方改革ですけれども、教職員の中でも特に教頭先生の負担が大きいというところですね、各市町も、報道も入ってございましたけれども、各市町の教育長さんから色んなご意見がございました。で、その結果についてはですね、私がメモしたものをですね、高校も含めて校長先生と教頭先生にはお配りをしております。</p> <p>それらも参考にしながらですね、今月働き方改革の協議会がありますよね。来月ですね。予定されておりますので、その中で色んな意見が出ればいいなと思っております。それから6月も盛りだくさんでございましたけれども、もう1点だけ申し上げますと、6月24、25の土曜日、日曜日で世界文化遺産登録の5周年記念事業、24日が野崎島の世界遺産スペシャルガイドツアーで、25日がパネルディスカッションと鈴木調査官の記念講演がありましたけれども、24日のツアーに私も参加した時に感じましたけれども、マイスターを4年度と5年度で8名輩出していますけれども、担当の平田係長が野崎に行かずにですね、高橋さんと3名のマイスターでスペシャルガイドツアーを実施できたという、1名の学芸員が8名のマイスターを生み出して、その内の3名が活動していただいた。まさに私が行政職員時代から言い続けております「官民協働」のですね、1つのモデルになる事業じゃないかと、私は嬉しく思っております。で、2つの事業を通してですね、参加者の方にアンケートを取っております。で、まとまっておりますので、もしできるんでしたら、今日委員さんにもご覧いただいた方がいいだろうと思えますので、どうぞよろしくをお願いします。</p> <p>ここ2、3日、怒涛のごとく色々ございまして、頭の中が整理できておりませんが、簡単ですけどこれで挨拶に代えさせていただきます。</p> <p>引き続き進行させていただきます。</p>
教育長	<p style="text-align: center;"><b>「附議案件」(1) 前回議事録承認の件</b></p> <p>まず前回議事録承認の件ですけれども、何かございますでしょうか。大丈夫でしょうか。</p>

教育委員	大丈夫です。
教育長	ありがとうございます。
<b>「附議案件」(2) 教育長報告</b>	
教育長	続きまして教育長報告ですけれども、この中で何かございましたでしょうか。
中村委員	いいですか。
教育長	はい、お願いします。
中村委員	5ページの4番の文化活動指導者等人材についてですけど、これは作成を依頼されているという段階でよろしいでしょうか。
教育長	はい、班長大丈夫ですか。
事務局 (班長)	はい、お答えします。これについては、作成を依頼されているという状況でございます。で、すみません、ちょっと締切りまで時間がありませんけれども、情報収集して提出したいと思っております。
中村委員	これは、部活動の地域移行に関するような流れということですよ。
事務局 (班長)	基本は、その流れがあると思いますが、運動部活動については、割と指導者についてがあるんですけど、文化活動については、割とそういうベースがありますので、地域での人材集めを兼ねて行うという流れでございます。
中村委員	ありがとうございます。
教育長	ほかにありますでしょうか。よろしいでしょうか。
教育委員	はい。
<b>「附議案件」(3) 議決事項</b>	
教育長	はい、ありがとうございます。 続きまして議決事項ですけれども、議案第2号 小値賀町学校給食共同調理場運営委員会規則の一部を改正する規則案について、ということであげさせていただきます。事務局の説明をお願いします。
事務局 (教育総務係長)	はい、事務局です。6月15日に第1回小値賀町学校給食共同調理場運営委員会が開催されました。で、この中で、お手元に配布しております規則の一部改正についてご協議いただきました。主な内容としましては、公会計化に伴う文言の修正が主でございます。

	<p>第3条第3号中「学校栄養士を栄養教諭または学校栄養職員に改める」というところは、これは公会計化とは関係ありませんけど、正式な職名に修正しております。</p> <p>第6号中「保健体育部長を役員に改める」というところも、PTAの役員の構成上、変更しているところです。</p> <p>で、(9)「その他委員長が必要と認めた者」につきましては、今年度教育委員会の各種委員の公募をかけておりまして、調理場の運営委員会が一般公募する枠がございませんでしたので、新たに追加をしております。</p> <p>第5条第1項中「及び監査委員2名」を削り、同条第2項中「し、監査員はPTA役員から互選」という文言が、公会計化に伴いまして監査員がなくなっておりますので、この分を修正させていただいているところです。以上です。</p>
教 育 長	はい、ありがとうございました。それではこの議案第2号に関しまして、何かございましたら、よろしくお願ひいたします。
升水委員	はい。
教 育 長	はい、お願いします。
升水委員	第3条の(6)のですね、小中学校のPTAの役員から2名ってなるようにしてありますけども、PTAの役員さんは、小学校、中学校の役員さんって、何名くらいおられるとですか。
事 務 局 (教育総務係長)	はい。
教 育 長	はい、お願いします。
事 務 局 (教育総務係長)	<p>PTAの役員さん自体は、それぞれ7名程度います。</p> <p>で、今回学校給食に関しましては、小学校が母の会の会長さんが参加していただいております、中学校が保健体育部長さんが参加していただいております。</p> <p>この変更前の役員が小学校・中学校のPTA保健体育部部長2名となっております、小学校には、そもそも保健体育部というものが存在しておりませんでしたので、「PTA役員」ということで、今回修正させていただいたところです。</p>
升水委員	はい、わかりました。
教 育 長	<p>ほかにございますでしょうか。</p> <p>ないようでしたら、採決に移らせていただきます。</p> <p>議案第2号 小値賀町学校給食共同調理場運営委員会規則の一部を改正する</p>

	規則案について、ご異議ないでしょうか。
教育委員	はい。
教育長	はい、異議なしということで、議案第2号は承認可決であります。
	<b>「附議案件」(4) 協議事項</b>
教育長	続きまして協議事項ですけれども、総合教育会議について、ということで、お手元にA4の両面ですね、赤い文字が混ざっているものですがけれども、あるかと思えますけれども、事務局から説明をお願いします。
事務局 (教育総務係長)	<p>はい、事務局です。前回の定例教育委員会で、日程の調整で、第1希望、第2希望、第3希望まで出していただきましたけど、町長部局と調整しまして、第1希望の7月31日で、1時30分から3時で調整がつかしましたので、よろしくをお願いします。</p> <p>内容につきましては、町長挨拶があった後に、協議事項に入ります。</p> <p>去年は、教育大綱について上げさせていただきました。</p> <p>今年度は、令和6年度から第4期小値賀町教育振興基本計画がスタートすることになっておりますので、今年度中に策定をしていかなければなりません。</p> <p>ということで、町長部局の方とも計画の中身もですけど、予算的なものも擦り合わせながら、来年4月からの事業開始に向けて、調整を図っていきたいということで、協議事項の方に上げさせていただいております。</p> <p>スケジュールは、まだ案ではございますけれども、表の中に書いているような感じでは考えています。</p> <p>(2)番としまして、「小中高一貫教育」について、ということで、地域探究を柱とした、これまでは「小中高一貫教育」ということで言っていましたけれども、日頃教育長が言われております「幼・小中高・地域一貫教育」ということで、小値賀町全体が一貫した教育ということで、地域探究を柱としてやっていきたいと思いますということで、そこは改めて町長部局の方とも話をしていければなと思っております。</p> <p>(3)番の「ふるさと留学」につきましては、先日の議会の一般質問の模擬公聴会の中でもそういう話がありましたけれども、「親子留学」であったり「孫留学」についての話がありましたので、今の「しま親型」「入寮型」に加えて「親子留学」「孫留学」をどのように、教育委員会だけではちょっと難しいので、総務課なども交えながらやっていくことにはなるかと思うんですけど、その辺の擦り合わせをしたいと思っておりますので、今回協議事項に上げさせていただいております。</p> <p>(4)番の「高校魅力化推進事業」につきましては、先日の高校魅力化推進協議会の中でも、一番話として挙がった外国語、英語の方に力を入れた方がいいのではないかとということで、これも協議事項の方に上げさせていただいております。詳しい内容としては、その次の教育関係懇談で上げさせてもらっていますので、一旦割愛したいと思います。</p>

(5) 番につきましては、総合センターの建て替え問題について、ということで、令和5年度までに建て替え方針を示すようになっておりますので、その方針を町長の方とも協議していきたいと思ひまして、協議事項の中に上げさせていただきます。

3番の教育関係懇談につきましては、先ほどの高校魅力化の一つとして提案したいと思ひているのですが、主な取組みとして、ALTの独自配置について上げられないかなと考えております。

今ALTが県から配属されて高校の所属となっているのですが、1名だけの配置となっております。今後、小値賀町の中で英語教育に力を入れていくにあたって、なかなか教員数を増やしていくのは、ご承知のとおり、なかなか難しい状況となっておりますので、ALTの先生を増やしていったらいいのではないかと考えております。その場合、JETプログラムというものがあつて、今県から来られているALTの先生が、そのJETプログラムを活用してから来てもらっているのですが、その経費が約400万円ほどかかるということで、なかなか1人に対して400万で、更にその先生が1、2年しか島にいないということを見ると、なかなかコスト的、費用対効果的にも難しいのかなと思ひまして、逆に小値賀の魅力というか、特徴の一つとして、外国の方がたくさん移住して住民票も置いて住まわれておりますので、そういった方々に協力していただいて、有償ボランティアとして、それこそ幼小中高、さらには地域の方でも、英会話教室をしていただいたりとか、小値賀町全体で英語、外国語教育に取り組んでいくという、島を挙げての取組みとしてやっていけないかということで、教育委員会提案で町長の方には話を上げたいと考えております。

4番の「その他」の教育委員会関係事業アイデア募集につきましては、後でこの定例教育委員会の最後に「その他」の方で上げておりますので、割愛させていただきます。以上です。

教 育 長

はい、ありがとうございます。この総合教育会議のですね、レジュメと申しますか、資料ですけれども、事務局と一応私との間で打ち合わせはしておりますけれども、これはまだ未定稿でございます。

私の方でですね、新たに中学校の部活動の地域移行、これに関してですね、首長部局はまだ情報何も持っていない、今検討会も通算3度実施しておりますけれども、この間まだ状況を首長部局に共有しておりませんので、協議というよりも現状認識を一致させるという意味で、資料の中に盛り込みたいと思ひますし、ふるさと留学の「親子留学」「孫留学」の立ち上げについてとありますけれども、担当が早々に「立ち上げ」としてありますが、まだ研究自体行っておりませんので、その辺の説明のですね、表現に関しても、まだちょっと手を入れないといけないところがあると思ひますので、終わりにですね、7月の定例教育委員会の日程をご協議いただくこととなりますけれど、できれば、その前に資料を委員さんに配布させていただいてですね、何かご意見があれば、定例教育委員会前にですね、ご連絡をいただいて、そして、その定例教育委員会で正式なものにして、31日の総合教育会議に渡そうという流れをイメージしております。この中で何かございましたら、よろしくお願ひします。

<p>升水委員</p>	<p>はい。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>はい、お願いします。</p>
<p>升水委員</p>	<p>すみません。3番の教育関係懇談会についての英語教育を小値賀町のまちおこしの一貫というか、そういう取組みとして英語教育を強化したらどうかということで、ここに書かれているんですけども、この前高校の魅力化会議に出席した時に、こういう話を出したんですけども、何か皆さん否定的だったような印象があるとですね。英語教育をやっても、今は翻訳機というのが、ものすごく開発されてですね、翻訳機があるけん、あまりもう必要ないんじゃないかっていう意見があって、あーそうなんだと思って、そういう気持ちがですね、少しそういうふうに時代が進んでるんだなと思って、私たちでは、外国の方と日本人が意思疎通をするためには、なかなか翻訳機ではできないし、目を見て感情でいろんな話をした方がいいし、今後小値賀町の中で人材不足になった時に、外国人が結構入ってくる可能性もあるけん、町内でそういう取組みをしたらどうかと思ったんですけど、そういう意見があって、翻訳機があるけん、もうそういうのは要らんとじゃないかという印象を強く受けたものですから、そのままここに乘っけていいのかなと思いました。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>ありがとうございます。これに関してはですね、先ほど升水委員さんが高校の魅力化推進協議会に関して言われましたけど、私も同席したので、正直言って、委員さん言われるように反応は薄かったかなというふうには思っています。</p> <p>翻訳機がですね、充実してきてるっていうのは事実ですし、実際この事例もお話したんですけど、住民課の戸籍ですね、私が戸籍関係の書類を請求に行った時に、私の前に若い外国人の女性がおられて、うちの戸籍の異動して間もない担当と窓口でやり取りしていて、全然聞こえなかったんですけども、その女性が帰られた後に、私が窓口の担当に「よー手続きできたね」って話をしたんですけど、そしたら、その外国人の女性の方が、自分のスマホで翻訳機のアプリを出して、自分で英語の話をして、それを担当に見せて、で今度は担当が日本語で話をして、それを英語に翻訳して戻って、というやり取りをして、手続きしましたって言ってたんですね。「困ったことなかった」と聞くと「特に困ったことはなかったです。便利な世の中になりましたね」って言ってたんですけど、それはそれとしまして、生成A Iの話も連日新聞報道でも毎日のように出ていますけれども、それはそれとして、升水委員さんが言われるように、生の英語に触れる、しかもネイティブの英語に触れる、そういう機会は、今後もやっぱり必要だと思いますし、敢えて申し上げれば、升水委員さんのご意見が「小値賀にも外国人が実際におられるし、これからも増えてくるかしれない。そういう国際交流の促進とかも踏まえれば、学校だけじゃなくて地域全体が英語に親しむ、そういう機会作りが必要なんじゃないかっていうようなことも含めて、多分反応が、学校の教育現場の枠を超えた話だったので、多分戸惑いもあったのかなっていうふうに、私は印象を受けたんですけど。</p>



	<p>話は戻りまして、最初担当から提案があったのはですね、JETプログラム、これは長崎県がALTを確保するために、このJETプログラムを運営している団体と契約を結んで、そのJETプログラムがALTを探して、各市町に派遣して流れになっているようです。</p> <p>契約当事者は、長崎県とJETプログラムの運営組織っていうふうになっているんですね。それは、一つの方法ではあるんですけども、私の方から神崎係長から説明があったように、こういうふうにしたらどうかっていう提案をさせていただきました。実際、北松西高のALTさんが、町内の方と連携して、図書館で英語のお話し会をやっています。</p> <p>で、そのパートナーは、小値賀在住の外国人の方がやられています。</p> <p>で、そういうのを見るとですね、むしろ、IT協会にもおられますし、ふるさと留学に携わっている方の旦那さんも外国の方だったりとかですね、結構外国の方がお住まいになっているんで、こども達の英語教育を強化していくのであれば、地域の人材を活用した方がいいんじゃないかっていう話をさせていただきました。で、これはあくまで、升水委員さんが心配されるように、これを総合教育会議にかけていいかっていうところもあるんですけど、あくまでも教育委員会としてはこういうふうに思っていますっていう話でやれないかなと。</p> <p>町長も乗ってもらえれば、当然その予算措置は、予算の編成権は町長にあるわけですので、町長に内諾をいただければ、実際にそういった方々にお声かけをして、どういう形で学校教育に関わっていただけるか相談するっていう流れでどうかなと思っているんですけど。</p>
中村委員	<p>僕も魅力化推進を見ているときに、今はチャットGPTでみんな予習をしているという文言があって、調べたんですけど、よそでは、学校の授業の宿題はチャットGPTにやらせて、塾のとかをやるのが宿題であって、そんなことで本当に勉強できるのかなって思うんですけど、でも、僕全然分からないので、僕らのイメージは、0から何かを生み出すっていう感じで、英語が喋れなくてもできますよって、0から1を生むって感じで思ってるんですけども、本当に必要とされることって、1を自分で作るってことなんですね。</p> <p>1を作ったのをチャットGPTにかけて、英語を直してもらって、ちゃんとした文章にするっていう時代が必要なんで、日本語をそのまま英語にして直せばそれでいいのかなっていう問題ではない。</p> <p>最初に1を出して、これを添削してくださいって、チャットGPTに言ったら、直してくれるそうなんですね。それが正しい使い方みたいなんですけど、だから1を最初に作り出すことが大事だと思うんで、小値賀学とかと合わせてのものなんだと思うんですね。うちの親戚が森ビルで働いているんですけど、外国人相手の仕事なんで、英語は話して当たり前、英語を話せることは、そんなに凄いいことではない。やっぱり人間力なんで。</p> <p>だから、英語が基本ベースとして、小値賀学と合わせて英語力と人間力でやっていたら素敵です。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。まさに、本当に英語の応用力だけでなく、まだ私レ</p>

	<p>ベルの理想ですけども、幼・小中高・地域一貫教育、小値賀学の中で地域の方が関わる、そういう機会になると思いますんで、そういう考えがあるっていうことを総合教育会議で、町長にお伝えしようかなと思っておりますけれども、この点について、よろしいでしょうかね。</p>
教育委員	はい
教育長	はい、ありがとうございます。他にこの中で気になる点とかありますでしょうか。大丈夫でしょうか。私は、若干気になる点はあるんですけど、そこはまた事務局の打ち合わせの中でさせていただければ、また長くなっちはいけませんので、よろしいでしょうか。事務局、補足があるでしょうか。
事務局 (教育総務係長)	はい、もし追加でこういうものを入れたいというものがあればですね、7月の10日くらいまでに連絡をいただければと思います。事務局まで。
教育長	本来ですね、総合教育会議の主催者は町長で、事務局は総務課なので、本当は総務課が教育委員会と擦り合わせて作るべきものなんですけど、現実はそのようになりますので、どうしても教育委員会で素案を作って、それを本来の事務局である総務課に投げて、総務課で確認してもらって、OKっていったものが会議に出るといふふうにならざるを得ない。その分時間が、申し訳ございませんけどかかりますので、よろしいでしょうか。
教育委員	はい。
教育長	はい。よろしく申し上げます。
	<p><b>「附議案件」(5) 報告事項</b>  <b>1) 各種委員会、協議会等について</b></p>
教育長	<p>続きまして報告事項ですけれども、まず報告第8号 第1回放課後こども教室運営委員会について、ということで、資料が事前配布されているかと思えますけれども、報告第8号で何かございましたらお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>はい、ありがとうございます。続きまして報告第9号 令和5年度北松西高校魅力化推進協議会、先ほど少し出ましたけれども、この中で何かございましたらよろしく申し上げます。よろしいでしょうか。</p> <p>升水委員さん迷ってらっしゃるようですが、迷った時には手を挙げられた方がいいかと。</p>
升水委員	すみません、長くなりすぎて。高校魅力化推進会議に、ふるさと留学の会長として今2回出席させてもらっているんですけど、魅力化推進協議会の時に発言できれば良かったとですけど、この魅力化推進ってというのが、要するに高校

	<p>の存続を目標として魅力化を促進していこうっていうようなことで始まったと思うんですけども、今協議会の中で話し合っていることを聞いているとですね、どうしても英語力をつけようとか、高校の魅力化はそっちの方に、こういう効果は割と長期的に、少し長い期間をかけて魅力化が出てくるものじゃないかなと私の感覚では思うんですけども、あと実際、今もう高校の人員が10人を切る状態になっていますから、長期的な魅力化推進もですけども、割と短期的に人員を確保できるような施策っていうのが、並行して進むべきじゃなかかなと。なんか今の協議会の中で話し合っているのが、すごく悠長な気ばかりしてですね、大丈夫やろうかね、間に合うとかねって思う、焦りばかり出てるんですけども、委員の皆さん、いかがですかね。</p>
教 育 長	<p>どうぞ、ご発言をお願いします。</p>
浦 委 員	<p>高校の魅力化っていうのが、最終的に私の頭の中に入ってきたんですけども、高校の魅力ってなんだろう、魅力があれば、子ども達が北松西高に集まる、で、北松西高校の存続に繋がっていくっていうようなことだったんじゃないかなと思うんですね。そういう中で、高校の魅力って、何を魅力にしていくなかっていうことを皆さんで協議したんですけども、なかなかそれが見つからない。</p> <p>それで、あの、北松西高は、結構、その、進学もいいし、就職もいいところに結構行っているんで、北松西高に行ったら、高校卒業してからのあれは、保証ですますよっていうような、そんな感じで持っていくのも一つの手じゃないかなと。また、英語に力を入れたらどうだろうかなって色んな意見が出たんですけど、まとまらなかったような気がするんですね。</p> <p>それで、私が今思うのは、本当に北松西高が子どもにとって、まあ保護者もですけども、何が魅力なんだろうかって思うところがあるんですよ。</p> <p>っていうのは、北松西高のことにしても、やっぱり生徒達は、よそに流れていく子どもが多い。よそから入ってくる子も、今年度は2名の方が入ってこれていますけれども、なんで北松西高を選ばずに、よそに出ていくのかっていうのを考えた時に、やっぱり自分の将来的な人生設計をしたときに、やっぱり北松西高ではちょっと足りないものを、やっぱり自分は外で挑戦したいっていう気持ちの子ども達自身に、昔は、のほほんとしていたと思うんですけども、だけでも最近の子ども達は、しっかりそれを見据えているなっていうところが見えてきたんですね。だから、高校でもやっぱり親元について、すればいいのに、やっぱり親から離れて行く、よその地域の自分のやりたいことを見つけて行く、今子どもってすごいんだねって思うところがあるんですけど、そこをなんとかしないと、高校もちょっと危ういなってっていうところがあるし、魅力がないのかなって思うし、私自身も、今こう、分からないようなところが出てきたんですね。</p>
升水委員	<p>あの、高校の、実際魅力があるのかもしれないですけども、今、この前の魅力化会議で、小値賀の高校に入学せずに、よその高校を選択する意向調査っていうのを教えていただいたんですけども、やっぱり、その、自分が進むべき道の</p>

	<p>教科が、小値賀の高校にはないとか、やりたい部活動が高校にないとか、やっぱりその、小値賀の高校でどれだけ努力しても、なかなかそういう実現ができないものが、今出ている原因になつとるごたるけんですね。</p> <p>学校の中の魅力化っていうのは、長期的には、中に入っている自分達を育てるためにはいいかと思うんですけども、その出ていく子ども達を止めるための魅力化っていうのが、少し何かずれてるんじゃないかなって思うとですよ。</p>
教 育 長	<p>難しいですね。中村委員さん何かございますでしょうか。</p>
中村委員	<p>特にはないです。</p>
教 育 長	<p>なかなか難しいですね。先日一般質問がありましたし、その前は今田議員さんからありましたけれども、今田議員さんが言われてた、北海道の奥尻高校ですかね、ちょっと私も調べてみました。</p> <p>で、PRを当然してるわけなんですけれども、それを見るとですね、少人数のきめ細かい教育や部活、要は、人数が少ないので、必ず試合に出れる部活動とかですね、意外とですね、そのレベルのことを書いているんですよ。</p> <p>ただ、その奥尻高校の一つの強みは、尖ったプログラムとして、スキューバの資格が取れる。潜水士の資格が取れるっていうのが特色なんですけれども、それを除けばですね、北松西高も同じようなことを書けるなっていうくらいの感じなんですよね。で、それを考えた時に、尖ったプログラムっていうのがあればいいと思いますけれども、私は地域探究をしっかり磨いていくことが、尖ったプログラムづくりに繋がると思ってますけれども、それでも、そんな悠長に構えていいのっていうご意見があるかもしれませんが、しかし、やれることをしっかりやっていくっていう以外に、私はないと思っています。</p> <p>それと、やっぱりPR力、情報発信力。これは、やっぱり要るのかなっていう、同じ能力を持っていても目立つ方が、同じポテンシャルがあってもですね、しっかりPRする、目につく方に人の目が行くのは当たり前のことですので、そこをしっかりと、以前から言われていることなんですけれども、情報発信は、しっかりやらないといけないというのと「地域探究」、それを進めるしかないのかなというふうに思います。どっちかという、北松西の魅力化というよりも、小値賀町の、こういうまちづくり、小値賀町の中にある、こういう北松西っていうようなPRをしないと弱いのかなという気はしています。</p> <p>ほかございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>続きまして、報告第10号 ふるさと留学協議会に関しましては、後でということでもよろしいですか。</p> <p>続きまして、報告第11号 小値賀町立図書館運営協議会について、でございます。何かございますでしょうか</p>
浦 委 員	<p>はい。</p>

教 育 長	はい、お願いします。
浦 委 員	<p>以前、教育委員会で不登校の子どもを取り扱った時にですね、図書館に不登校の子どもが登校したら、学校としては出席扱いとしますっていうお話をして、そういう協定かなんか結んでいますよね。</p> <p>で、それをちゃんと学校の方はご存じなのかな、どうかなっていうのがあるんですけども、そうしないと、結構今不登校の子ども達がいらっしゃるので、図書館まで行ったら出席になるよっていうことで話ができればと思うんですけども、学校の方は承知しているんでしょうか。</p>
教 育 長	はい、学校は承知しています。
浦 委 員	全員ですか。
教 育 長	そこまでは、ちょっと私も確認はできていませんけれども、学校には共有はできています。言われるように、全職員とかいう話になってくると、毎年度確認作業が必要になってきますので。
中村委員	現在、そういう対象の子はいない。今までもあまりいない。
浦 委 員	前1名の方がいらっしゃって、それでちょっと話が出てきたんですよ。
中村委員	何年前ですかね。
浦 委 員	2、3年、もっとよね。大島の、
中村委員	だから、今の先生達は知らない。
浦 委 員	知らないと思いますね。
中村委員	制度的にはあっても、実施はしているとか、知らない人もいる。
教 育 長	<p>その辺の実例も含めて、事務局は周知をお願いします。</p> <p>これは毎年するというので、子育て講演会と同じで、毎年やるということをお願いします。</p>
升水委員	あの、よかですか。失礼になると思うかもしれませんが、不登校の子ども達は結構何人かおらすとですよ。その家族、直接家族にお話しをして、図書館に行ったらこんなふうになりますよって、家族に伝えたりするのは、失礼になっとですかね。
教 育 長	決してそんなことはないと思いますけれども、ひとつ聞くのはですね、結局、

<p>升水委員</p>	<p>誰がそういうふうになっているか分かる土地柄ですので、その子が図書館に通うとすぐ分かる。一般の利用者を制限するわけにはいきませんので、その点はコミュニティが小さいゆえの情報の伝わりやすさとか、分かって伝わるっていうのが、まああることですね。その点が、一つの障害になっている話は聞きます。これはどうしようもないことなんですが、方角が、学校が図書館に近いので、その点でもですね、ちょっと足が向きにくいとかっていう話も聞きます。</p> <p>ただ、このコミュニティが狭いから、どこの子が学校に行けてないなあっていうのは大体知っている人、特に子どもの親御さん達は、知っていると思うんですけど、知ってる中であるんだから、図書館に行っても「あの子が図書館に行ってた」って言っても、別にそんなに島外の子と比べたら、あんまり抵抗感はないのかなって思うんですけど。</p>
<p>教育長</p>	<p>共感できるんですけど、それはその親御さんによると思います。</p> <p>私の例で言いますと、私の息子も発達障害で、小学1年から中学3年まで特別支援学級でしたけれども、やっぱり、それをオープンにできる親と、できない親。私の妻は、小学校に息子が入学する時に、特別支援学級を利用すると決めた時に、保護者会で説明をしました。同級生の親御さんに、普通学級の親御さんに。で、その親御さんや同級生の子供達に恵まれたと思うんですけど、やっぱり、そういった理解をしていただくっていうのが大事だと思うんですね。</p> <p>そういう意味で、私は子育て講演会とかで悩みを打ち明け合えるような、関係性とか、そういった昔小値賀に当然のようにあったコミュニティの関係性っていうのはですね、やっぱりそれはかなり希薄になってると思うんですね。</p> <p>そういう中で、孤立しがち、一人で悩みがちっていうふうになると思いますんで、そういうのが少しずつ緩和されてきた中で、多分図書館に行きやすい環境になるのかな、そういう想像をしたりするんですけど、何かご意見ございますでしょうか。図書館の基本的な機能も含めて、何かございますでしょうか。</p>
<p>中村委員</p>	<p>いいですか。センター建て替えの話もあったので、そこで建て替えていう時に図書館も一緒にできるのかな、してもらいたいな。</p> <p>そういう子を受入れる状態が図書館にありませんので、横に多目的室みたいな部屋もありますけれども、現状あまり使えていない。</p> <p>なので、少しカバーできるようにして、勉強ができるように、何か構成できることがあればいいのかな、で、今の場所も変える。ぜひ新しい図書館を。</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございます。他に何かございますでしょうか。大丈夫ですかね。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>続きまして、報告第12号 令和5年度小値賀町学校運営協議会、令和5年度第1回ですが、何かございましたら、よろしくお願ひします。</p>
<p>升水委員</p>	<p>いいですか。</p>

教 育 長	どうぞ。
升水委員	一つ教えてください。3番の協議事項の中の小値賀中学校のところですけども、真ん中の右に「小値賀中学校は複数担任制」ってなってるんですけども、これはどがんなっちゃうとですかね。
教 育 長	はい、これはですね、表現が十分ではありませんで、今年度来られた上野校長先生が、学校経営の考え方として、今、担任、それから副担任っていう体制になっていますけれども、6年度、もう5年度はですね、上野校長先生が来られる前にもう5年度の体制が固まっているのが実情でありました。 6年度に向けて正、副の担任っていうことではなくて、どちらも正という位置づけで、学級担任を位置づけたいというお話でした。 終わった後に私も聞いてですね、どちらも正っていうことで、例えば譲り合うといいますか、なんかデメリットってないんですかね、と聞いたんですけども、むしろ正、副であることよって、副担任が遠慮をする、どちらも同じ立場だよっていうことで、お互いに意見とか考えとか、擦り合わせしやすいっていうふうに考えていますっていうことでした。
升水委員	ということは、今の校長先生は、そういう複数担任を導入している学校におられたっていうことですか。
教 育 長	確か、自分の新たなアイデアだったと思います。
升水委員	いや、成功事例とかっていう、これはあんまり良くないとか、こっちはいいとかっていうメリットやデメリットっていうのは、やってみなければ分からないっていうことですかね。
教 育 長	はい、どっちかかっていえばそうなると思います。 確か、自分が経験したとか、そういった正担任複数制を敷いている学校に勤めた経験があるとか、そういうお話ではなかったと記憶しています。 せっかくですので、上野校長先生が校長先生なりに考えて打ち出していますので、そこは支持したいなと思っているんですけど。 他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。
教育委員	はい。
教 育 長	はい、ありがとうございます。 続きまして、報告第13号 小値賀町文化的景観保護審議会、保護推進審議会ですね、正式にはですね。最近私もやっと覚えました。 報告第13号に関して、何かございましたらよろしくお願ひします。 よろしいでしょうか。

教育委員	はい。
教 育 長	はい、ありがとうございます。
<p>「附議案件」(5) 報告事項 2) その他</p>	
教 育 長	続きまして、報告事項の「その他」ですけれども、16項目あります。通しでお願いします。この中で何かありましたらお願いします。よろしいでしょうか。
中村委員	はい。
教 育 長	はい、お願いします。
中村委員	大田さんに質問なんですけど、青少年劇場をやってみて、次回はどうされようと思いましたが。次回はどうしようと。感想があれば。
事 務 局 (班長)	<p>はい、今年度、もともと例年学校のカリキュラムでやっておりましたものを、本年度公民館事業としてやらせていただきまして、遠慮することなく地域の方も誘って実施することができています。</p> <p>で、来年度もですね、学校カリキュラムで、本来の青少年劇場としては、学校カリキュラムの中で組み込んでやるべきとは思いますが、来年からは、感染症の心配もなく、ほぼ解消されると思いますので、来年度からは、学校でやりつつ、さらに一般の方にも鑑賞機会を広めてですね、小値賀町民全体に芸術鑑賞イベントとして広めることができればと、私個人としては考えているところです。以上です。</p>
中村委員	ありがとうございます。
教 育 長	これ、お話したかと思えますけれど、本年度は、青少年劇場を申請する前に学校のカリキュラムが決まっていたということになって、多分、今までもギリギリのところだったのかなあというふうに思いますので、班長の方が学校のカリキュラムで、まずは考えたいということですので、担当にも私から話してありますが、申請時期を待つことなく、学校は秋には次年度カリキュラム、計画がほぼ固まってくるので、その前に学校と調整するように指示はしております。よろしくをお願いします。
浦 委 員	<p>私もこれ見に行きたいと思って予定表には書き込んでいたんですけど、丁度予定が入って行けなかったんですけど、うちのはちょっと行きました。</p> <p>そして、感想は「とても良かったよ」ということでした。</p> <p>もっとね、せっかく良いものをしているのにね、保護者の方は、大人の方でも</p>



	<p>いいから、もっとたくさん来てくれたら良かったのに、もったいないなっていう第一声でした。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。その辺の事前アナウンスもですね、強化する必要があるかなと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
事 務 局 (班長)	<p>もっとですね、たくさんの人に見てもらえるように取組みを強化していきたいと思います。</p>
教 育 長	<p>ほかにございますでしょうか。大丈夫ですかね。 はい、ありがとうございます。</p>
	<p style="text-align: center;"><b>(6) その他</b></p>
教 育 長	<p>続きまして、その他ですけれども、私これまだ見てないんですけど、出てきておりますので、事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局 (班長)	<p>はい、事務局から説明させていただきます。 その他の「令和6年度教育委員会関係事業アイデア公募について」ということで、追加でお配りした資料のA4両面刷りのやつをご覧いただければと思います。 仮称で「令和6年度学びのアイデアコンテスト企画案」ということで、上げさせていただいております。目的・視点、ここに載っておりますのは「官民協働」の教育行政を推進するというので、前々からの教育長の方針でもございます。 で、例えば、町民ニーズが我々では思いつかない、求められる事業を引っ張り出す、我々の考えにとらわれないですね、多様なアイデアを引き出す、そして各種委員等の新たな人材発掘、職員の働き方改革につなげるというような3つの視点からですね、今回こういうものを企画しております。 で、基本的には、アイデアを町民というか、外部から募集するというのが基本の流れでございます。で、それぞれの項目について、こういうのはどうかなというのを事務局で揉んで、とりあえず今回提出させていただきました。 まず、対象分野についてでございます。これについては、テーマを絞って募集した方が応募しやすいんじゃないかというのがありました。 例えば、町レクについてとか、離島留学についてとかありますけれども、テーマについて、また今から詰めていきたいと思います。 ただ、事業費規模は定めずにやっていきましょう、で、周知方法につきましては、世帯配布チラシ、小値賀町ホームページ、小値賀町公式LINEというですね、うちの広報3本柱でですね、周知を図ろうとしております。 応募要領は、後ほど出てきます応募期限までに「企画概要」を事務局へ提出していただきます。様式は自由です。紙だけでなくデータ提出も可とします。 提出先は、小値賀町教育委員会事務局、または公式アドレスまでお願いします。で、応募対象、この応募対象というのは、申し込む人ですね、提案する人については、特に制限は設けない。例えば、年齢縛りですとか、町民に限るとか、</p>

	<p>その辺をしたらどうかという話もあったんですけど、これについては、特に制限は設けず、強いて言うならアイデアのある人、やる気のある人は、どなたでも申し込みいただけますという形です。</p> <p>で、応募期間も7月10日、月曜日から7月31日までとしております。</p> <p>で、選定員につきましては、小値賀町教育委員会、教育委員の皆様をお願いできればと思っております。選定方法としまして、教育委員会事務局で一次選定を行いまして、ある程度、これは本選定までにはいかないなというやつですね、事前に事務局でチョイスさせていただきまして、その後、教育委員さんに本選定させていただければと考えております。</p> <p>選定基準としましては、例えば必要性、事業効果、持続性、自走性、協力者等、こういったものを各項目、例えば10点満点ですね、合計50点満点とかで採点させていただければと考えております。</p> <p>で、別に何本選ぶとかじゃなくて、いいアイデアがあったら全部採用という形でいいんじゃないかとしております。</p> <p>裏面の方をご覧ください。スケジュールでございます。</p> <p>6月、本日定例教育委員会で事業内容を報告させていただきまして、7月に入りましたら、早速公募期間7月10日から31日までです。</p> <p>また、7月31日の総合教育会議で、町長部局に情報共有をさせていただきたいと思っております。で、8月になりまして、8月下旬の定例教育委員会の中ですね、事業選定を行っていただければどうかと考えております。</p> <p>で、選定が終わった後9月からですね、いよいよ実施方法の検討を町教委でやるのか、委託でやるのか、補助するのか、併せて財源確保なども行っていきまして、10月には関係者協議を行い、11月に財政部局、町長部局と協議を行って、新年度の予算要求、令和6年度の予算要求を行うという流れで想定しております。正直、あの、すみません、まだまだ作り込みが甘い部分があるかと思いますが、こういう形で事業をやりたいと思っております。皆様のご意見をいただければと思っております。どうぞご意見をよろしくお願いいたします。</p>
教 育 長	はい、ありがとうございました。ご意見ございますでしょうか。
升水委員	はい。
教 育 長	はい、どうぞ。
升水委員	今、お話を聞いてですね、応募期間が7月10日から7月31日までということで、割と短いなと思ったんですけども、その上に、この後側のスケジュールを見たらですね、すごくすごくバタバタバタバタいくなって思って、何かこういうものは、1年前くらいに企画して、1年後に動き出すっていうのが普通じゃないかなって思うんですけど、なんかちょっと急ぎ過ぎじゃないですか。
教 育 長	ありがとうございます。まあ、これ私が提案しましたので私がお答えします。これ、応募期間に関しましてはですね、言われるように、3週間の応募期間、

	<p>本当に自分で温めているものがあれば可能だと思うんですけども、一から考える、何か出したいなという時には、タイトかもしれませんので、その辺は、弾力的にですね、対応して、期間を延ばしても構わないと思いますし、ゴールが11月になっていますけれども、これもですね、まあ升水委員さんご承知のとおり、6年度の当初予算に計上するにあたって、最終的に調整する時間が、1月まではあります。ですので、実際は、12月、1月の間の期間をですね、充てることは可能です。ただ、今までが、やっぱりどうしても、予算編成作業自体がですね、遅れがちな状況になって、早めの動き出しと早めのゴール設定をしてるんですけど、実際は、プラス2か月くらいの余裕があります。</p> <p>それから、この対象分野の中で、これ先ほど私が見てないと言いましたけど、どうも担当としては、全分野じゃなくてテーマを指定して募集する考えみたいですので、その辺も自分達で事務量を勘案してですね、まず、このアイデア募集に関して、最初の取組み、一発目ということで、少し範囲を絞って事務局として対応しやすいレベルから始めるという意図かなと思っていたんですが。</p> <p>額いていますので。私は、何でもありが実は良かったんですが、そういうわけにはいかないのかな、現状の仕事もありますし、それに関しても、出てきたアイデア等を利用してですね、リニューアルするとか、逆にスクラップするとか、そういうことも考えていいんじゃないかと思います。</p> <p>何でも事務局が直営でやるっていうんじゃなくて、お任せする時にはお任せする、先ほど言った24日のスペシャルガイドツアーも、そういうことも実際できるわけですから、当然お膳立てするまでの対応がありますけれども、アイデアを一定募って町民の皆さん、一般に募るという考え方については、どうでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
浦 委 員	私は、いいと思います。
中村委員	<p>あとは、事業内容による直営、委託、補助。補助になれば、どんな分野であれ、負担は増えないのでいいのかなと。</p> <p>直営になってしまうと、何であれ手がかかってしまう。実際難しくなってしまうので。</p>
事 務 局 (班 長)	今委員おっしゃられるようにですね、その辺も含めまして、選定基準の中に自走性ですとか、あるいは持続性等ございますけれども、その辺もですね、十分勘案していただいて、今年は著しく低いから、ちょっと今回は見送ろうとかですね、そういった判断もすることができるのではなかろうかと思います。はい。
中村委員	少なくなってしまうので、出たのをそこはしっかり選んでいいのかと思いますけど、あと一つここで思うのは、8月の定例教育委員会で事業選定した後に、9月に実施方法の検討になっているんですけど、これが反対なんじゃないかな。
教 育 長	セットでしょうね。

中村委員	<p>補助でこの事業は上がってますとかっていう形が出てないと、全部僕らが直営を選んでしまったら、全部直営にしてしまったとかなったら困りますので、分かった状態で決めた方がいいのかな。</p> <p>もう1回後の方で、教育委員会が入っていればいいと思いますけど。</p>
事務局 (班長)	<p>スケジュールで、実施方法の検討については、事業選定と合わせて行うという事です。</p>
教育長	<p>私が言ったので、決裁しやすくなったかな。</p>
中村委員	<p>それと、表記の方法が間違っている。令和6年度にやる事業のアイデアコンテストっていうことなんで、それが後のやつを見ると、予算要求があるので来年のって分かるんですけど、実際やる期間っていうか、計画を行う期間みたいなものも、どこかに書いてあると。なんか難しいですよ。</p>
教育長	<p>令和6年度実施。</p>
中村委員	<p>事業の案を。</p>
教育長	<p>コンテストっていう表現もね。</p>
升水委員	<p>コンテストね。</p>
教育長	<p>担当が好きなんですよ。</p>
升水委員	<p>ちょっと、コンテストって、ずれる。</p>
教育長	<p>私は、当初の考えは広く募集して、それを6年度に必ず実施しますっていうのではなくて、この視点のところに書いてある、2番のですね「事業のストック」として、あーこれすごくいいアイデアだな、もっとこうすればよくなるんじゃないか、もっとこうしたらっていうのは、事務局、教育委員さんから意見を出してもらって、で、6年度は、事業の量的に類似の事業があつて、ちょっと無理だと、この従来やっている事業を住民主体で活用できるんじゃないかとか、そういう、絶対に6年度にやるっていうんじゃないくて、複数年のストックを私は募りたいなというイメージがあつたんですよ。</p>
升水委員	<p>令和6年度以降の事業についてのコンテスト、アイデアを募集します、でよかつちやなかるうかね。</p>
教育長	<p>それじゃないと、気軽にアイデアを出せないかなと。</p> <p>企画概要に力を入れないといけない、この表現自体が、企画書を作らないといけないってなったら、かなりハードルが高く感じるんじゃないかなと。</p>

	<p>それよりもアイデアが多い方がいい。整理するのに事務局が大変ですけど。</p>
中村委員	<p>そんなにたくさんは挙がってこないと思うんですけど。</p> <p>みんなが思っているのは、例えば町レクと離島留学で、2つポンって出されたら、それがなかったら0になりますもんね。</p> <p>なんか、町レクと離島留学でイメージってあります。まったく分からないんですけど。</p>
事務局 (班長)	<p>あっすみません。これについては、まだあくまで例でございますので、特に何かあって挙げたわけじゃくて。</p>
教育長	<p>離島留学でアイデアを出されても、ちょっと困る。</p>
中村委員	<p>テーマをもう少しフワッとした方がいいんじゃないかな。</p>
事務局 (班長)	<p>実際、これを事務局で揉む時に、一応3つくらい案があって、例えば、教育委員会分野なら、なんでもいいですよってするか、あるいは、公民館、図書館、体育、文化財とか、そういうふうに分けて募集するか、あるいは、そこからさらにテーマを指定して募集するか話をしまして、その中で、ちゃんとしたテーマを指定した方が、一発目としてはやりやすいんじゃないかなというので、これでどうですかという意見でございます。ですので、皆さんが、もっとこうしたらいいんじゃないかっていうがあれば。</p>
中村委員	<p>広く募集をして、できるようなやつを選んでもらえればいいと。</p> <p>で、ストックして、まあ言ってくれた人には説明して、今度やりたいと思うとかいう形にすればいいので、このコンテストを外すのは問題ない。</p> <p>コンテストだったら、自分がダメだったみたいに感じるので、採用されなければ。実際、今の状態でやってみて、6年度としては、実施は難しいんだけど、次こんなふうにやっていきたいと、繋がっておけばいいのかなと思っています。</p> <p>広く募集しても大変になることはないかなと思いますが、違いますか。</p> <p>選ばなければです。</p>
升水委員	<p>やっぱり、その企画書を提出してください、アンケートですよってなったら、高くなって、皆さん出さんやろうって思ってコンテストっていうのを付けてるんじゃないかなって思うとですね。出しやすかごとですね。</p> <p>でも、コンテストをするんだったら、ここの後のスケジュールの中に、応募者の表彰とか、何か出てこんばじゃなかろうかねって思うとですけど。</p> <p>応募した人には何もなかつかなって。</p>
事務局 (班長)	<p>それについても、決して失念しているわけではなくて、事務局内で、これも3つくらい案がありまして、参加賞をあげるとか、採用された企画には賞をあげるとか、あるいは何もなし、とりあえず、そういうのなしでいいんじゃないかと</p>

	ありまして、なしでいいんじゃないかということに。
升水委員	<p>こういうアンケートとかあった時に、利用促進を図るために、こういうアンケートを取りますよって、回覧で回って来るとですね。</p> <p>そして、一生懸命考えて出すじゃなかですか。出すんですけども、自分の考えがどこに採用されたのか、そして、誰のが採用されたのかっていう情報があると何もわからんものですけど、そういうのが繰り返されれば、アンケートが来ても出してもねってなる可能性もあるけん、もしもできれば、アンケートを取ったら、そんなに余計には来ないっと思うとですよ、記名や住所や書いとらんけんわからんかもしれんとですけど、もし分かれば、その後のあれを教えてもらえれば、やりがいがあるとですけど。</p>
事務局 (班長)	はい。升水委員さんが言われたように、応募して、それぞれに対する反応を返してあげる。
升水委員	何らかですね。
事務局 (班長)	このアイデアについては、令和6年度から取り入れさせていただきますとか、このアイデアについては、令和6年度は難しいですが、令和7年度以降に取り入れさせていただきますとか、ありがたいアイデアでしたけど、ちょっとなかなか実現は難しいとか。
升水委員	個人個人には、そういうのは難しかかもしれないけど、例えば、おぢか新聞ならおぢか新聞のコーナーの中で「こういうアイデアが採用されました」って教えてもらえれば、いいかなと思います。
教育長	選定に漏れた皆さまも応募ありがとうございました。懲りずに来年もお願いしますっていうような。
升水委員	あのアンケートの回答は、どがんだったっちゃろうかかって思うことがあるもんけん。
中村委員	本当に素晴らしくても、コンテスト形式になってしまうとなんか、申し訳ないな。
教育長	アイデア募集にしましょう。で、これ実は、思いついたのは、ある住民の方からこういうことをしたいと思ってるんですけど、これってどこに言えばいいんですか、教育委員会に言ってもいいんですかっていうことがあります、言ってもいいんです。やっぱり、住民の皆さんは、事業っていうのは町が、行政が構えるものであって、自分達がそれに関してやりたいことを入れてもらえるとかっていう感覚がないみたいですね。少なくとも、その方と話した時も、すごく遠慮されていて、いやいや、それこそが大事なんです、ですので、是非手を挙げてく

	<p>ださいってという話をした時に思ったんですね。</p> <p>もっと既存のイベントも「もっとこうしたらいいのにな」って思っているけど、町がしたら、私達が言えることではないんだよねって言うふうに思われているのであれば、そこはやっぱりもったいないと思いますので。</p> <p>で、そこでなんですけど、テーマを絞って募集するか、全分野的に自由にアイデアを出してもらって言うところが、まだ決まってないと思うんですけど、既存の、いわゆるこの町レクについてとかありますけど、すってくる広場とか、既存の事業であっても、町民レクのこのプログラムよりも、こんなプログラムが喜ばれるんじゃないかとかって言うのも、ありって考えてるんですかね。</p>
事務局 (班長)	<p>そうです。はい。</p>
升水委員	<p>ただ、その、事業を特定して、何個か、今、町レクとか特定して出すじゃないですか。したら、高齢者から、お年寄りから子ども達から、かなりの年齢層があって、知らないことも多いじゃないですか。</p> <p>こういうふうにテーマを出されても、なかなか知らないで書けない可能性もありますから、大まかに、文化財とか体育関係とか、分野で大まかに挙げとって募集した方が、広い範囲で色んなものが出てくる可能性があるんじゃないかな。そこからもう1回、そこから絞って行って、更に絞っていけば。</p>
教育長	<p>って言うことは、対象は、教育委員会所管の全分野で、学校教育、社会教育、文化財、図書館その4分野全てについて、何でもいいので、アイデアの概要を応募してくださいって言うご意見が出ておりますけれども、いかがでしょうか。</p>
事務局 (班長)	<p>ありがとうございます。</p>
升水委員	<p>皆さんはどげんかい。絞った方がいいのかな。</p>
浦委員	<p>あまり広すぎるんじゃないですかね。出てきたアイデアもバラけてしまうんじゃないですかね。バラけていいのかな。</p>
中村委員	<p>いいんだと思いますね。</p>
事務局 (班長)	<p>はい、先ほどコンテストという名称から募集に変えた方がいいよとありましたし、大まかな範囲で募集すればいいんじゃないかっていうご意見もいただきました。で、さっき話を聞きながら思ったのが、教育委員会所管で、今既に実施している事業についての改善、あるいは全く新しいアイデアの二つに分けて募集するのがどうかと思ったんですけど、そうすると、教育委員会の既存事業って何があるのか、まず示す必要があるのでは。</p>

教 育 長	年間行事予定表。
事 務 局 ( 班 長 )	まあそうですね。それも配ってはいるんですけど。
中 村 委 員	コンテストにするとテーマを絞る。幅広過ぎるとコンテストできない。ただ、コンテストを外せば幅が広がるから、アイデアとしてはいいと思うんですよ。
教 育 長	ということですけども、事務局も含めて発言していただいて結構です。
事 務 局 ( 班 長 )	はい、事務局でございます。だいぶ企画案から変わっておりますけれども、今いただいた意見的に、募集という形であれば、下手に範囲を狭めない方がいい、既に教育委員会所管の事業という範囲自体を作っておりますので、その範囲内で募集するというのも、いかがでしょうかと思います。
教 育 長	よろしいでしょうか。
教 育 委 員	はい。
教 育 長	事務局は、よろしいですね。まあ、やってみなければ分からないですね。まずは、そのコンテストをやって、住民の皆さんの意見の掘り出しをやってみましょうか。これ、このまま修正して出すんじゃないですね。目的・視点とか、私が書いたまんま出してると思いますが、特に視点の3番の矢印のやつは、あまり表には出したくない。各種委員に引っ張り込まれるんじゃないだろうかとか、活動させられるんじゃないだろうかとかですね、思われると困りますし、職員の働き方改革も、職員の負担軽減のために住民ば活用しようと思っちゃるっちゃろうかいとか、思われたら本意ではありませんので。そこは勘弁してください。
升 水 委 員	ただ、目的とか視点とか、矢印のすぐのところの一行くらいは、何の目的やろうかねっていうのは、分かりやすかよね。
教 育 長	そこは、例えば、令和6年度以降の教育委員会所管の事業アイデアを募集しますって書いて、その下に目的として、私はその「官民協働」の教育行政を推進のためにアイデアを積極的に取り入れた事業推進、住民のための事業推進をするために募集しますよって、それくらいでいいのかな。
事 務 局 ( 班 長 )	チラシについては、もちろん別に作成いたします。合わせて募集してですね、升水委員からもありましたように、アイデアに対するレスポンス、反応を忘れずに必ずするというので、そのような形で行いたいと思います。



教 育 長	以上のような感じでよろしいでしょうか。
教育委員	はい。
教 育 長	はい、ありがとうございます。 続きまして、7月行事予定ですけれども、7月20日が小、中の終業式です。 先ほどの「夏休み充電宣言」もありましたけれども、集中的に休暇、休息を取る期間でありますとともに、先生方の自分磨きをする期間でありますけれども、中身につきましては、それぞれ確認いただければと思います。 よろしいですかね。
教育委員	はい。
教 育 長	はい、ありがとうございます。 それでは、一応ここまでで、6月定例教育委員会を閉じさせて、失礼しました。すみません、事務局からお伝えしたいことがあるそうです。
事 務 局 (教育総 務係長)	はい、事務局です。 当日配布の資料で、下に20ページと書いた「6 各市町の状況」という資料があるかと思えますけど、これ今年度実施しました、県の学力調査の結果です。 県の平均を上回っているものが、+になっています。 小値賀町は、小学校 国語、算数、理科全て+で、中学校も国語、数学+になっております。全て+は小値賀町を含めて、時津町、長与町、島原市の4つとなっております。小学校は5年生、中学校は2年生が実施しております。 細かい詳細のやつは、後日公表されますけど、この中でも高い方に小値賀町はいるようですので、頑張っておられるのかなと思います。以上です。
教 育 長	後日報道もあるかと思えますので、ご確認いただければと思います。 いいですかね、それでは、これで一旦教育委員会を閉じさせていただきますけれども、その前に教育委員会の次回の日程調整がありますから、非公開で実施いたします報告と合わせて行いますので、引き続きよろしく願いいたします。
	15 : 40 終了
	※1名傍聴者あり。閉会后、傍聴者1名から発言あり